



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月29日
上場取引所 大

上場会社名 田岡化学工業株式会社
コード番号 4113 URL <http://www.taoka-chem.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 津田 重典
問合せ先責任者 (役職名) 事業支援室部長 (氏名) 小和田 晴彦 (TEL) 06(6394)1221
四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第1四半期 | 4,137 | 34.3 | 274 | 726.6 | 257 | — | 138 | — |
| 22年3月期第1四半期 | 3,081 | △29.7 | 33 | △80.5 | 17 | △89.8 | 5 | △93.0 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-----------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第1四半期 | 9.64 | — |
| 22年3月期第1四半期 | 0.38 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第1四半期 | 16,262 | 5,918 | 36.4 | 412.07 |
| 22年3月期 | 16,288 | 5,830 | 35.8 | 405.94 |

(参考)自己資本 23年3月期第1四半期 5,918百万円 22年3月期 5,830百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期 末 | 合 計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | 3.00 | — | 3.00 | 6.00 |
| 23年3月期 | — | — | — | — | — |
| 23年3月期(予想) | — | 3.00 | — | 3.00 | 6.00 |

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|------|------|------|------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 7,700 | 9.7 | 340 | 71.8 | 310 | 86.6 | 170 | 202.2 | 11.83 |
| 通 期 | 16,600 | 12.2 | 580 | 5.3 | 530 | 11.8 | 300 | △64.9 | 20.88 |

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|--------|-------------|
| 23年3月期1Q | 14,440,000株 | 22年3月期 | 14,440,000株 |
|----------|-------------|--------|-------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|---------|--------|---------|
| 23年3月期1Q | 77,358株 | 22年3月期 | 76,064株 |
|----------|---------|--------|---------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 23年3月期1Q | 14,363,115株 | 22年3月期1Q | 14,365,271株 |
|----------|-------------|----------|-------------|

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------------|---|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報..... | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報..... | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報..... | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報..... | 3 |
| 2. その他の情報..... | 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要..... | 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要..... | 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要..... | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表等..... | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表..... | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書..... | 6 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記..... | 7 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記..... | 7 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア向け輸出関連の増加を主として企業業績の回復は見られるものの、欧州の財政問題に端を発する混乱が不安視されたことによる株安や円高の傾向が強まるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、本年度から3年間を対象期間として策定した「中期経営計画」の基本方針に沿って更なる企業体質の改善強化に取り組むとともに、経営数値目標の達成に向けて諸施策を講じてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は41億37百万円となり、前第1四半期連結累計期間に比べて10億55百万円の増収となりました。

損益面におきましても、営業利益2億74百万円、経常利益2億57百万円、四半期純利益1億38百万円となり、前第1四半期連結累計期間と比較し大幅な増益となりました。

[事業部門別の売上高の概況]

| 区 分 | 当第1四半期 | | 前年第1四半期 | | 増 減 | |
|-----------|--------|-------|---------|-------|-------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 増減率 |
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 精密化学品部門 | 1,599 | 38.7 | 1,083 | 35.2 | 515 | 47.6 |
| 機能材部門 | 808 | 19.5 | 513 | 16.7 | 294 | 57.4 |
| 機能樹脂部門 | 487 | 11.8 | 456 | 14.8 | 30 | 6.7 |
| 化成品部門 | 1,170 | 28.3 | 933 | 30.3 | 236 | 25.3 |
| 化学工業セグメント | 4,065 | 98.3 | 2,987 | 97.0 | 1,077 | 36.1 |
| その他セグメント | 71 | 1.7 | 93 | 3.0 | △21 | △23.4 |
| 合 計 | 4,137 | 100.0 | 3,081 | 100.0 | 1,055 | 34.3 |

①【化学工業セグメント】

当セグメントの売上高は、40億65百万円となり、前第1四半期連結累計期間に比べて10億77百万円の増収となりました。

(精密化学品部門)

農薬中間体は出荷数量が減少いたしました。電子材料の出荷が大幅に増加したため、売上高は15億99百万円と、前第1四半期連結累計期間に比べて5億15百万円の増収となりました。

(機能材部門)

ゴム薬品の出荷数量が増加したため、売上高は8億8百万円と、前第1四半期連結累計期間に比べて2億94百万円の増収となりました。

(機能樹脂部門)

加工樹脂およびワニスとも出荷数量が増加し、売上高は4億87百万円と、前第1四半期連結累計期間に比べて30百万円の増収となりました。

(化成品部門)

可塑剤についても出荷数量の増加により、売上高は11億70百万円となり、前第1四半期連結累計期間に比べて2億36百万円の増収となりました。

②【その他セグメント】

当セグメントの化学分析受託事業の売上高は、土壌調査関係が減少し71百万円となり、前第1四半期連結累計期間に比べて21百万円の減収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産額は162億62百万円となり、前連結会計年度末と比較して26百万円の減少となりました。これは、固定資産で減価償却の実施等による減少および繰延税金資産の減少が、播磨工場事務棟新設等による増加を上回ったことにより52百万円減少し、流動資産で商品及び製品の増加等が受取手形及び売掛金の回収による減少等を上回ったことにより26百万円増加したことが主な要因であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債総額は、103億43百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億14百万円の減少となりました。これは、支払手形及び買掛金の3億61百万円の増加、短期借入金2億41百万円の減少、未払法人税等の1億31百万円の減少、退職給付引当金の1億30百万円の減少が主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、59億18百万円となり、前連結会計年度末と比較して87百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が95百万円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成22年5月10日公表時から変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理の適用)

① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、たな卸資産の簿価切り下げに関して収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切り下げを行っております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動負債（その他）として繰延べております。

② 税金費用の計算

一部の子会社については、当第1四半期累計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、これによる営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響はございません。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成20年9月26日改正）を適用しております。

これに伴い、たな卸資産の評価方法を後入先出法から、総平均法に変更しております。

なお、これによる営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 248,901 | 218,437 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,257,499 | 4,333,217 |
| 商品及び製品 | 2,776,754 | 2,651,623 |
| 仕掛品 | 71,727 | 34,221 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,272,400 | 1,231,226 |
| その他 | 261,672 | 394,233 |
| 貸倒引当金 | 112 | 173 |
| 流動資産合計 | 8,888,844 | 8,862,786 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 6,468,438 | 6,285,228 |
| 減価償却累計額 | 4,260,680 | 4,207,774 |
| 建物及び構築物(純額) | 2,207,758 | 2,077,453 |
| 機械装置及び運搬具 | 16,253,929 | 16,185,329 |
| 減価償却累計額 | 13,891,702 | 13,791,478 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,362,226 | 2,393,850 |
| その他 | 3,474,163 | 3,517,278 |
| 減価償却累計額 | 1,438,687 | 1,423,624 |
| その他(純額) | 2,035,476 | 2,093,653 |
| 有形固定資産合計 | 6,605,461 | 6,564,957 |
| 無形固定資産 | 112,339 | 130,435 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 658,677 | 733,633 |
| 貸倒引当金 | 3,100 | 3,100 |
| 投資その他の資産合計 | 655,577 | 730,533 |
| 固定資産合計 | 7,373,378 | 7,425,926 |
| 資産合計 | 16,262,222 | 16,288,712 |

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,342,929 | 2,981,681 |
| 短期借入金 | 2,075,640 | 2,317,240 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,041,000 | 441,000 |
| 未払法人税等 | 8,154 | 139,931 |
| 賞与引当金 | 166,029 | 327,677 |
| その他 | 1,298,043 | 1,079,433 |
| 流動負債合計 | 7,931,797 | 7,286,964 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 936,000 | 1,585,000 |
| 退職給付引当金 | 1,205,641 | 1,336,610 |
| 役員退職慰労引当金 | 42,806 | 48,741 |
| その他 | 227,502 | 200,558 |
| 固定負債合計 | 2,411,949 | 3,170,910 |
| 負債合計 | 10,343,746 | 10,457,874 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,572,000 | 1,572,000 |
| 資本剰余金 | 1,008,755 | 1,008,755 |
| 利益剰余金 | 3,375,848 | 3,280,538 |
| 自己株式 | 21,395 | 21,156 |
| 株主資本合計 | 5,935,208 | 5,840,138 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 43,717 | 53,193 |
| 為替換算調整勘定 | 60,451 | 62,493 |
| 評価・換算差額等合計 | 16,733 | 9,299 |
| 純資産合計 | 5,918,475 | 5,830,838 |
| 負債純資産合計 | 16,262,222 | 16,288,712 |

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 3,081,143 | 4,137,120 |
| 売上原価 | 2,494,993 | 3,297,229 |
| 売上総利益 | 586,149 | 839,890 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運送費及び保管費 | 88,785 | 117,892 |
| 給料手当及び福利費 | 201,980 | 209,631 |
| 退職給付引当金繰入額 | 7,164 | 7,547 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 5,012 | 4,264 |
| 研究開発費 | 101,434 | 97,708 |
| その他 | 148,582 | 128,505 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 552,959 | 565,550 |
| 営業利益 | 33,190 | 274,340 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 199 | 48 |
| 受取配当金 | 1,599 | 1,764 |
| その他 | 2,324 | 4,769 |
| 営業外収益合計 | 4,123 | 6,582 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 16,367 | 13,149 |
| 為替差損 | 2,848 | 7,072 |
| その他 | 295 | 3,479 |
| 営業外費用合計 | 19,511 | 23,701 |
| 経常利益 | 17,801 | 257,220 |
| 特別利益 | | |
| 退職給付制度終了益 | - | 9,839 |
| 特別利益合計 | - | 9,839 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 6,869 | 1,850 |
| 過年度消費税等 | - | 33,053 |
| 特別損失合計 | 6,869 | 34,903 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 10,932 | 232,157 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,697 | 3,581 |
| 法人税等調整額 | 2,837 | 90,173 |
| 法人税等合計 | 5,535 | 93,755 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | - | 138,401 |
| 四半期純利益 | 5,396 | 138,401 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

該当事項はありません。